

全国生涯学習ネットワークフォーラム2011カラオケ大会

震災復興を願い、
 岩手県で
 全国カラオケ大会を開催

当連盟では、全国生涯学習ネットワークフォーラムに参加。歌を通じた震災復興支援活動の一環とした参加事業で、岩手県においてカラオケ大会を実施しました。



歌の力復興後
 59組熱唱盛岡で全国カラオケ大会in盛岡(岩手日日新聞)
 歌による震災復興支援活動として報じる地元新聞(岩手日日新聞)



大会の様子は岩手朝日放送でも紹介



会場となった盛岡市市民文化会館姫神ホール

平成23年11月5日(土)～11月6日(日)の2日間、「全国生涯学習ネットワークフォーラム『まなびピア2011』」が開催されました。この催しは文部科学省が毎年1回、生涯学習の全国イベントとして開催都道府県との共催で行っているもので、今年は「全国生涯学習フェスティバル」という名称から「全国生涯学習ネットワークフォーラム」と名前を改め、岩手県での開催を予定していましたが、3月11日の東日本大震災の影響のため一時は中止になりました。しかし震災後に生涯学習を通じた地域の絆やコミュニティの高まりが再認識され、会場を東京に移し、「学びを力とする3.11以降の地域づくり、社会づくり」をテーマとして様々なセミナーが行われました。

当連盟も、カラオケを通じた被災地の復興支援を掲げ、催しに参加し、岩手県盛岡市にある盛岡市市民文化会館姫神ホールを舞台に「全国生涯学習ネットワークフォーラムカラオケ大会2011」を11月5日(土)に実施いたしました。会場には59組61名の参加者と約450名が来場。震災後カラオケを楽しむ機会が減ってしまった被災地の方々にも生涯学習としてのカラオケを楽しんでいただきました。

尚、当日の様子は地元新聞に掲載されたほか、11月18日に岩手朝日放送にて放送されました。

全国生涯学習ネットワークフォーラム 2011カラオケ大会



最優秀歌唱賞の
佐々木ヨシ子さん



歌唱賞の佐藤節郎さん



知事賞の田代真由さん



開会宣言を行う鈴木理事長



敢闘賞の安部英治さん



熱演賞の清水誠さん



教育長賞の皆川千秋さん



開催を前に約450名の来場者が詰め掛ける



努力賞の三上貴光さん



震災時の状況を語る
高橋久安さん



理事賞賞の吉岡俊哉さんと川村理央さん



司会進行を務めた
岩手朝日テレビアナウンサー 藤原規衣さん



知事賞を受賞した喜びを語る田代さん



日時：平成23年11月5日（土）
会場：盛岡市渋民文化会館「姫神ホール」
主催：カラオケ使用者連盟
審査員（敬称略）
審査委員長：鈴木武夫（カラオケ使用者連盟 理事長）
審査員：毛利泰介（カラオケ使用者連盟 常務理事）
浦田昭男（岩手県歌謡連合会会長）
奥泉信範（宮古音楽スクール協会会長）
佐々木國男（渋民地区飲食店経営者）

全国生涯学習ネットワークフォーラム 2011カラオケ大会 入賞者（敬称略）

各賞	入賞者	歌唱曲
岩手県知事賞	田代 真由	雪よされ
岩手県教育委員会 教育長賞	皆川 千秋	フレンズ
カラオケ使用者連盟 理事長賞	吉岡 俊哉 川村 理央	チャイム
最優秀歌唱賞	佐々木ヨシ子	みちのく哀歌
歌 唱 賞	佐藤 節郎	千の風になって
敢 闘 賞	安部 英治	蕾
熱 演 賞	清水 誠	嵐の追い分みなと町
努 力 賞	三上 貴光	雨ニモマケズ

盛岡市渋民文化会館「姫神ホール」にて当連盟主催のカラオケ大会「全国生涯学習ネットワークフォーラム2011カラオケ大会」が開催されました。これは既にカラオケを生涯学習として楽しんでいる方々に成果発表の場を提供しようという意図で実施したものです。本年はその生涯学習としてのカラオケ施設利用の理念に加えて、歌を通じた震災復興支援活動の一環として地元被災地区でも出場者を募集し全国より集まった59組の参加者による熱演が繰り広げられました。

福島県の南相馬地区から選抜された高橋久安さんは、東日本大震災の際、津波で家をなくされ、地震や原発の影響の残る厳しい状況の中で参加頂きましたが、辛い現状を感じさせない、力強い歌声で会場を湧かせました。

厳正なる審査の結果、栄えある「岩手県知事賞」は田代真由さんに決定。5時間にも及ぶ熱い戦いに幕を降ろしました。



代表曲「羽越本線」で会場を沸かす
三浦わたるさん



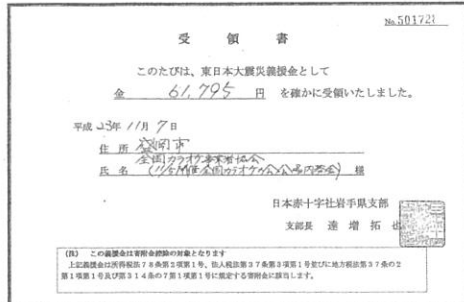
「南部蝉しぐれ」を熱唱する
福田こうへいさん



復興への思いが込められた復興応援ソング
「明日への虹…」を歌う小田代直子さん

カラオケ大会には、イベントを盛り上げるべくゲストとして、地元ゆかりがある歌手の三浦わたるさん、福田こうへいさん、小田代直子さんが参加。三浦わたるさんは地元の思いをこめ「野郎船」と代表曲「羽越本線」を歌い、福田こうへいさんは五木ひろしさんの「ひとりじゃないから」とヒット曲「南部蝉しぐれ」の二曲を披露、宮古市の観光大使を勤め、自身も津波の被災者である小田代直子さんは復興への思いが込められた「明日への虹…」を熱唱し、大会に華を添えました。

大会後にはゲストの方々が中心となり会場の入口で募金活動を行いました。集まった総額61,795円は日本赤十字社を通じ全額を東日本大震災義援金として寄付いたしました。



会場で行われた募金に総額61,795円が集まった

まなびピア東京では生涯学習に関する 様々なセミナーが開催されました。

全国生涯学習ネットワークフォーラム2011「まなびピア東京」は平成23年11月5日(土)から6日(日)の二日間、文部科学省第1・第2講堂、イノホールを主会場として、開催されました。例年であれば、生涯学習に関連する様々な体験コーナーが設置され、当連盟もカラオケ体験コーナー等を設置し「生涯学習としてのカラオケ施設利用」を広くアピールしていたのですが、本年は東日本大震災の影響で、岩手県から東京に会場を移しての開催なり、主会場では震災の経験から見えてきた成果や課題を踏まえ、生涯学習を通じた新しい地域づくり・社会づくりについて研究協議を行い、継続的な取組のための関係者間のネットワークづくりをテーマにした五つのセミナーを中心に開催されました。

・オープニングセッション

生涯学習のこれまでの取り組みや、東日本大震災から見えてきた成果や課題を明らかにし、生涯学習の成果を生かしたこれからの地域づくり・社会づくりについて各分科会に繋がる課題を提起しました。

・第一セッション

「学びの場を核にした地域の絆づくり」をテーマに震災の極限的な状況の中から地域の人々が、どう協力しながら震災の復旧・復興に取り組んできたのか議論されました。

・第二セッション

「これから求められる防災教育への取組」をテーマに、これからの防災教育の在り方や方策等について熟議しその成果を発信することについて語られました。

・第三セッション

「希望の高齢社会—新たな可能性への挑戦—」をテーマに超高齢社会の到来を目前に控え、高齢者を単に支えられる存在から、自らの地域における社会的役割を認識し「社会参画」や「自立」を通じて地域社会を支える担い手へと関係機関及び関係団体間のネットワークの構築を図りました。

・第四セッション

「ICTを活用した学びと安全・安心な学校の創造」をテーマに文部科学省が、本年4月28日に取りまとめた「教育の情報化ビジョン」からICT(情報通信技術)を活用した21世紀の教育が語られました。

・第五セッション

多くの若者たちが震災ボランティア活動に参加し、被災地の復興と被災者への支援を継続していった中、どのような役割を果たし何を学んできたのか、そして関係する機関、団体は若者たちにどのような支援をしてきたのかが熱く議論され、来場した多くの方々に生涯学習の現状を伝えていきました。

フリーダイヤルをご利用下さい。

経営者変更・お店の移転・閉店など当連盟へのお知らせは通話料無料のフリーダイヤルをご利用下さい。なお、IPPhone・携帯電話・PHSからは03-3495-5695へご連絡をお願いします。

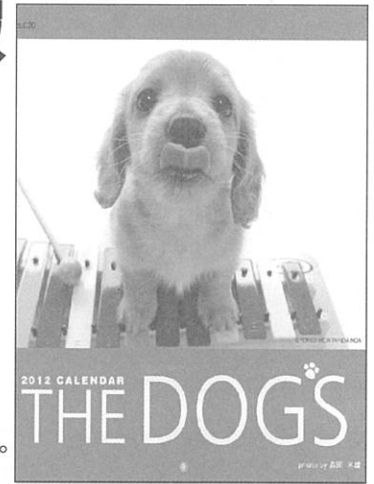
経営者変更・移転・閉店など、各種ご連絡は **0120-56-4056**

カラオケ使用者連盟2012年版 カレンダーを作成しました

カラオケ使用者連盟では会員専用のアイテムとして2012年度版カレンダーを作成しました。

これは「登録情報の変更やお問い合わせ、退会連絡などの際に利用していただききたい当連盟フリーダイヤル（3ページ参照）を広く告知する」ことを目的としています。店舗の見やすい場所に貼ってご利用下さい。

全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会経由によってお受けいただいている音楽著作物使用料の2割引は、当連盟登録内容とJASRACへの申込み内容が一致していることが前提となります。よって『住所・店名・経営者名・電話番号』などの変更が生じた際は、JASRACと当連盟のそれぞれに連絡いただく必要があります。登録内容に某かの変更が生じた際には必ず連絡いただくようお願いします。



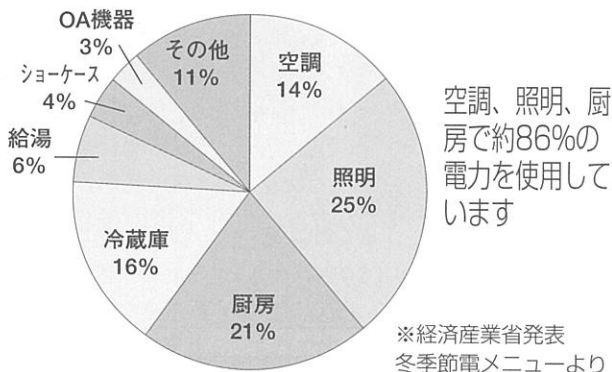
冬の電力対策

全国的にマイナス5～10%の節電が必要です。

厳しい暑さが続いた本年の夏でしたが、電力会社等が目標としていた電気供給量は、全国的な節電運動と電力会社による供給力の積上げの努力により、計画停電や需給ひっ迫による停電を回避することが出来ました。

今冬の電力需給バランスについては、経済産業省の発表によると、一般的に冬期の需要は夏期に比べて低いことから、定期検査等により停止中の原子力発電所が再稼働しない場合であっても、全国的に見れば、今夏ほど深刻とはならない見通しではあるものの、今夏同様に12月～3月を節電期間としています。会員各位におかれましても引き続き節電へご協力下さい。

飲食店の電気使用分布図



3つの節電アクション

照明

使用していないエリアや不要な場所（看板、外部照明等）の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする。

空調

店舗の室内温度を19℃以下に設定する。

厨房

冷凍冷蔵庫の庫内は詰め込みすぎず庫内の整理を行うとともに、温度調整等を実施する。

店舗で出来る電力対策例

○照明

- ・従来型蛍光灯をLED照明に交換する。
- ・店舗の照明を半分程度間引きする。

○空調

- ・フィルターを定期的に清掃する。
- ・暖気を逃がさないよう、断熱フィルム、夕方以降は厚手のカーテン等を活用する。
- ・ハロゲンヒーターなど、電熱線系の暖房機器の利用を避ける。

○厨房

- ・調理機器の設定温度の見直しを行う。
- ・ショーケースの吸込口と吹き出し口にはものを置かない。

○コンセント動力

- ・温水洗浄便座は保温・温水の温度設定を下げ、不使用時はふたを閉める。
- ・エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。

音楽著作物使用料の未払い・滞納は絶対にやめましょう

カラオケを利用する店舗が支払っている音楽著作物使用料は、JASRACによって楽曲の権利者（作詞・作曲家）へ分配され、新しい作品作りの糧となっています。当連盟では、カラオケを利用する全ての店舗に、音楽著作物使用料の未払いや、滞納防止を呼びかけています。会員各位におかれましても、自店はもとより、同業他店に対しても使用料の支払いや滞納解消を呼びかけましょう。